

2008年 4月28日
白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会
会長 宮田 温巳

ごみ処理施設についての公開質問状

昨年行なわれた広域連合主催の住民説明会において、住民側からは観光客への影響についての懸念が各地区で出されましたが、これに対して広域連合は「影響はないと考える」とし、名鉄地区からの質問に対しては、「主な質問に対する広域連合の考え方（その2）」において、ごみ焼却施設に併設するリサイクルセンターに、ごみや環境について学習することができる機能を整備することにより、「観光地にふさわしいクリーンな街づくりが推進される」とし、「ごみ処理施設の建設が、観光客の入り込みの減少につながるとは考えにくい」と回答しています。

しかし、当協議会は観光客への影響は必至と考えており、これを検証するため昨年8月に白馬村に宿泊した観光客へのアンケートを実施しました。その結果を添付致します。

このアンケート結果について下記の如くご質問致しますので、2週間を目途にご回答いただきたくお願い致します。なお、この質問とご回答は、当協議会のホームページ等にて公開することをご承知おきください。

記

1. 設問3において、白馬の魅力として観光客の82%が「自然景観」を挙げており、その次に「澄んだ空気」を挙げています。この観光客の気持ちをご理解いただけますか。
2. 設問5において、ごみ焼却施設の建設に観光客の80%の方が否定的です。「止むを得ない」を含めても肯定的な意見は10%です。この事実を受け入れていただけますか。
3. 設問7において、ごみ焼却施設の建設によって、65%（無回答を除くと73%）の方が白馬の魅力が損なわれるとし、損なわれないとする観光客はわずか6%です。そして損なわれるのは「自然景観」「澄んだ空気」そして「村の雰囲気」としています。これが観光客の意見です。これをどのように受け止められますか。
4. このアンケート結果から分かりますように、観光客はごみ処理施設の建設に反対であり、観光客から見て白馬の魅力やイメージが損なわれるわけですから、ごみ処理施設の建設は観光客の減少をもたらすことは明らかなです。それでも連合長は、観光客への影響はないとお考えですか。影響はないとするならその客観的な根拠をお示しください。

（追記）

白馬村の観光事業者の多くは、このアンケート結果を見るまでもなく観光客への影響（減少）を懸念しています。このような状況の中で建設を着手されるような事態になれば、今後の協働の村づくり、観光政策の遂行に支障をきたすことになるでしょう。

観光客への影響及び観光事業者の懸念についてご賢察いただき、今後のご処置を決断されることをお願い致します。

以上